

メッセージアウトライン

日付	2018年2月11日
単元	サムエル記・1
テーマ	召された者の生き方
タイトル	はじめの王サウル
テキスト	第一サムエル8-10章
参照箇所	
暗唱聖句	エペソ4:1「召された・・・ふさわしく歩みなさい」 or 第一サムエル10:9「神はサウルの・・・新しくされた」

導入	みんなのよく知っているダビデはイスラエルの王様でした。でも実は2代目の王様です。今日は、イスラエルの初めの王様のお話です。
I	<p>人々は王が欲しいと言いました(8章)</p> <p>A. イスラエルの人々はサムエルに王を立てて欲しいと求めました</p> <p>B. サムエルは神さまに祈りました</p> <p>C. 神さまは、「彼らの言うとおりに、ひとりの王を立てよ」と言われました</p>
II	<p>神さまはサウルを王に選びました(9章)</p> <p>A. サウルはいなくなったロバをさがしていました</p> <p>B. サウルはサムエルに助けを求めることにしました</p> <p>C. 神さまはサムエルに、王になるのはサウルだと教えられました</p>
III	<p>サウルはイスラエルの王になりました(10章)</p> <p>A. サムエルは、サウルの頭に油を注ぎました</p> <p>B. 神さまは、サウルの心を変えて新しくされました</p> <p>C. サウルはイスラエルの初めての王になりました</p>
結論	神さまは、サウルをイスラエルの初めの王にしました
適用	サウルは背は高かったですが、あとは普通の若者でした。しかしサウルは、神さまに召され、心を変えて新しくされ、王になりました。イエスさまに救われたみなさんも同じです。普通の小学生ですが、神さまに特別に導かれ、新しくされたのです。そのように神さまの働きに召されたみなさんは、どのように生きるべきでしょうか？神さまはどのような歩みを喜ばれるのでしょうか？それは、イエスさまに心の王さまになっていただくことではないでしょうか。イスラエルの民は、神さまに従うより、王を求めました。みなさんは、心と生活の中心に神さまを王として向かえ、従っていきましょう。サウルはその後、神さまのことばに忠実に従わず、自己中心で高慢になっていきました。それで王の座から退けられてしまいます(13・15章)。みなさんは、自分の力ではなく、神さまの愛によって救われたことを忘れないようにしましょう。神さまが愛と力で助けてくださらなければ、召された働きはできません。
備考	

